

「北海道の農業地域における小水力発電の可能性」



開催要領

趣旨

昨年7月から再生可能エネルギーの固定価格買取制度が施行され、規制・制度改革の追い風も働き、小水力発電に関しても全国的に導入の機運が高まってきました。しかし、北海道では本州と比較して小水力発電の導入事例が極めて少ないのが現状です。

このシンポジウムでは、売電とともに小規模であっても農村における未利用水エネルギーの「地産地消」が可能であること、同時に技術的課題と維持・保守管理経費や制度上の規制・制約等への対応を含め、広く情報を共有して積雪・寒冷地での導入促進に向けた論議を深めます。

日時 平成25年10月3日(木) 13:15~16:45
場所 札幌エルプラザ 大ホール(札幌市北区北8条西3丁目)
主催 NPO法人グリーンテクノバンク、農林水産省
後援 国土交通省北海道開発局、北海道農業水利施設小水力発電推進協議会
独立行政法人土木研究所寒地土木研究所

シンポジウム次第

1. 開会

挨拶 主催者 NPO法人グリーンテクノバンク
来賓 北海道農業水利施設小水力発電推進協議会 会長

2. 基調講演

農業用水路に適用した小水力発電の導入事例
大和 昌一(富士電機(株) 発電プラント事業部 水力統括部 小水力担当部長)

3. 情報提供

- 1) 農業水利施設を活用した小水力等発電の導入促進について
山田 久幸(北海道開発局農業水産部農業振興課 課長補佐)
- 2) 北海道の農業用水の取水パターンに基づく小水力発電の発電量と発電原価
大久保 天(寒地土研 寒地農業基盤研究グループ 主任研究員)
- 3) 積雪寒冷地における中・小水力発電所の保守管理費
小林 仁(ほくでんエコエナジー株式会社 取締役 技術部長)
- 4) 道内市町村における小水力発電の実証事例
小笠原竹伸(富良野市 総務部市民環境課環境係 係長)
大野 百恵(ニセコ町 企画環境課 環境エネルギー係)
- 5) 小規模分散型再生可能エネルギー供給システムの紹介
樋口 知志(下川町役場環境未来都市推進課 主査)

4. パネルディスカッション 「小水力発電の取り組み事例と課題」

(未利用水エネルギーの「地産地消」を地域産業振興に活用するためのアイデア)

コーディネーター後藤真宏(農村工学研究所 資源環境工学研究領域 総括上席研究員)
テーマ ・小水力発電所の保守管理と運営コスト
・電力活用による生産技術と地域振興
・参加者からのコメント、質疑応答

5. 申込

氏名、所属、電話番号を記して9月27日(金)までにFAX(011-210-4477)あるいはE-mail(gtbh@almond.ocn.ne.jp)でお知らせ下さい。

宛 先 NPO法人グリーンテクノバンク事務局 宛

FAX 011-210-4477 E-mail gtbh@almond.ocn.ne.jp

2013グリーンテクノバンク・シンポジウム

北海道の農村地域における小水力発電の可能性

参加申込書

(FAX、メール用)

氏 名	所 属・職 業	役 職	連 絡 先 (Email、電話)	備 考

◇開催日時:平成25年10月 3日(木) 13:15 ~ 16:45

◇開催場所:札幌エルプラザ 3階 大ホール (札幌市北区北8条西3丁目)

◇申込締切:平成25年9月27日(金)

◇参加費:無料